

協働事業報告書

事業の名称	こども目線の安心安全事業		
団体名・氏名	こども目線の 安心安全事業実行委員会	関係課(G)名	社会教育グループ 青少年育成グループ
事業費	126,860 円	市の負担額	100,000 円

事業の目的及び内容	(目的)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体的に自分の身を守れるようなきっかけを作る。 ・大人が子どもの日常の活動(遊びなど)を知り、大人も子ども目線を再確認することで、より有効な子どもたちの安全を確保するための手だてを探る。 ・地域の既成団体と NPO 団体が協力して地域のこどもたちの為に考えるモデルとする 	
	(内容)	
事業の目的及び内容	7月：実行委員会立ち上げ	
	7月16日(金)：ワークショップ実施 こども目線のKYT(危険予知トレーニング)、浜脇小学校PTA主催	
	9月24日(金)、11月25日(木)、12月21日(火)、2月19日(土)：実行委員会 1月16日(日)：「地域の気になるウォッチング」実施 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども、大人がどんな時やどんなこと、どんな場所が気になるのか話し合う。 ・子ども、大人が町歩きに出かけて、気になるところの写真を撮る。 ・子ども、大人と一緒に非常食を食べ、和やかな雰囲気をつくる。 ・子どもは気になるところマップを作る。 ・子どもはスクリーンに写真を映し出し、気になった場所や理由などを発表する。 ・子ども、大人は振り返りシートを記入する。 2月、3月：展開について	
(市民活動団体等の役割)	(市の役割)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の企画立案、運営 ・学校、地域住民への広報 ・実行委員会の開催 ・「地域の気になるウォッチング」のマニュアル作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係部署との協議の調整 ・今後の展開への協力 ・各地域青少年団体等への周知、広報 	

	市民活動団体等	市
協働事業の成果・効果	<p>「地域の気になるところウォッチング」実施 幼児や小学生とその保護者、地域住民を主な対象とした。そのため、実行委員会発足と同時に浜脇小学校へも実施の意図を説明し、PTAの協力も得て、浜脇小学校全校生徒へお知らせを配布することができた。子ども会の協力により、町内掲示板にもお知らせを掲示できた。これらは実行委員会として実施したせいかもしれないと思われる。開催日時は2011年1月16日10:30～14:00まで、浜脇公民館第1和室を集合場所として浜脇小学校校区内で行った。参加者は子ども7名、大人6名、スタッフ6名であった。子どもは15人、大人は10人の参加申し込みがあったが、インフルエンザの学級閉鎖などで参加者が減った。</p> <p>参加した子どもからはいろいろな場所を探検できて楽しかったという感想や、参加した大人からは子どもが普段どういう場所で遊んでいるのか、どういう場所が子どもにとって気になるところなのか再発見できたという感想があった。</p> <p>今回実行委員会に参画し、当日の参加した浜脇地区青少年愛護協議会が、23年度も継続して実施したいとの申し出があった。このことは他地域にも広報し広げるきっかけとなると思われる。そして西宮市との協働により、より信頼性が増し、浜脇地区だけで完結することなく、市民全体に子ども目線での安心安全事業の必要性が周知できると期待されるのである。</p>	<p>(社会教育グループ) 西宮市PTA協議会へ紹介し、各单位PTAの代表が集まる場で事業の紹介ができるよう依頼を行った。PTA協議会から、「平成22年度中には時間調整が難しかったため、H23年度に紹介する場を持つことになった」と報告を受けている。</p> <p>(青少年育成グループ) 「地域の気になるところウォッチング」概要が団体より提出されてから、地区青少年愛護協議会、西宮市子ども会協議会へ周知する機会がなく今の時点では成果はない。</p> <p>また、参加者がプレーリーダー以外では子ども7人、大人6人と少なく、当初目指していた「子ども目線での危険箇所の再認識」がどこまでできたのか疑問が残る。</p> <p>ただし、当日参加した浜脇地区青少年愛護協議会から平成23年度も継続して実施したいとの申し出があったことは、今後青愛協へ周知していく上で評価できる。</p>
課題	<p>今回の開催をモデル事業とし、今後他の地域での開催を目指して普及活動の方法を考える必要がある。</p> <p>また今回の実施時期が冬季だったため風邪で参加者が減ったことなどから、開催時期の検討などを考慮する必要がある。</p>	

自己評価書

(子ども目線の安心安全事業実行委員会)

事業の名称	子ども目線の安心安全事業	
団体名・氏名 関係課(G)	子ども目線の安心安全事業実行委員会	
自己評価欄（該当する選択肢に をつけてください。）		
1. 計画どおりに実施できたか	1. できた	主な理由（左記で3, 4を回答した場合に記入）
	<input checked="" type="radio"/> 概ねできた	
	3. あまりできなかった	
	4. ほとんどできなかった	
2. 事業実施により期待した成果を上げることができたか	1. 期待どおり	主な理由（左記で3, 4を回答した場合に記入）
	<input checked="" type="radio"/> 概ね期待どおり	
	3. あまりなかった	
	4. ほとんどなかった	
3. 協働で事業実施した効果はあったか	1. 非常にあった	主な理由
	2. あった	
	<input checked="" type="radio"/> 3. あまりなかった	担当課からの紹介で西宮市 PTA 協議会とも連絡が取れたが、全市 PTA への説明は23年度に持ち越しとなった。西宮市青少年愛護協議会への説明も同様である。浜脇地区での実施が全市に広がるきっかけが協働事業なので、23年度は実現できるように努力したい。
	4. ほとんどなかった	
4. その他、評価すべき点、反省すべき点	今回の実行委員会メンバーは直接地域で子どもにかかわる団体だったが、他地域に広げる際には、自治会や婦人会、老人会などとも連携しながらすすめることもあり得ると思われる。今回実施マニュアルを作成したが、これが前記の団体などの説明の際役立つと思われる。いずれにしても大人が子どもの気持ちにより添いながらその安全を確保することが、地域安全にもかかわることを認識することが大切ではないだろうか。	

自己評価書

(社会教育グループ)

事業の名称	子ども目線の安心安全事業	
団体名・氏名 関係課(G)	子ども目線の安心安全事業実行委員会 社会教育グループ・青少年育成グループ	
自己評価欄（該当する選択肢に をつけてください。）		
1. 計画どおりに 実施できたか	1. できた	主な理由（左記で3, 4を回答した場合に記入） 西宮市PTA協議会へ紹介し、各単位PTAの代表が集まる場で事業の紹介ができるよう依頼を行ったが、子ども目線の安心安全事業実行委員会と西宮市PTA協議会で平成22年度中には時間の調整ができず、H23年度に紹介する場を持つことになったため。
	2. 概ねできた	
③. あまりできなかった		
4. ほとんどできなかった		
2. 事業実施により期待した成果を 上げることができたか	1. 期待どおり	主な理由（左記で3, 4を回答した場合に記入）
	2. 概ね期待どおり	西宮市PTA協議会への依頼を行ったが、事業の紹介までは行えなかったため。
	③. あまりなかった	
	4. ほとんどなかった	
3. 協働で事業実施した効果はあったか	1. 非常にあった	主な理由
	2. あった	西宮市PTA協議会へ依頼を行ったが、事業の紹介までは行えなかったため。
	③. あまりなかった	
	4. ほとんどなかった	
4. その他、評価すべき点、反省すべき点		

自己評価書

(青少年育成グループ)

事業の名称	子ども目線の安心安全事業	
団体名・氏名 関係課(G)	子ども目線の安心安全事業実行委員会 社会教育グループ・青少年育成グループ	
自己評価欄（該当する選択肢に をつけてください。）		
1．計画どおりに 実施できたか	1．できた	主な理由（左記で3,4を回答した場合に記入） 平成 22 年度は団体より成果の提出があつてから、周知する機会がなかった。 平成 23 年度での周知を行う予定である。
	2．概ねできた 3．あまりできなかった ．ほとんどできなかった	
2．事業実施により 期待した成果を 上げることができ たか	1．期待どおり	主な理由（左記で3,4を回答した場合に記入） 平成 23 年度での周知を行う予定であるため、現時点では成果は上がっていない。
	2．概ね期待どおり 3．あまりなかった ．ほとんどなかった	
3．協働で事業実 施した効果はあつ たか	1．非常にあつた	主な理由 平成 23 年度での周知を行う予定であるため、現時点では効果はない。
	2．あつた 3．あまりなかった ．ほとんどなかった	
4．その他、評価 すべき点、反省す べき点	現時点では特にない。	